

平成23年度 第1回 東京都健康長寿医療センター研究部門倫理委員会 会議概要

開催日時 平成23年5月26日（木） 午後2時～6時10分

開催場所 研究所4階大会議室

出席委員 新開委員長、丸山副委員長、直井委員、河津委員、服部委員、山口委員、小林委員、高橋委員
田久保委員、河本委員 （出席委員10名／定数10名）

受付番号	新規・迅速	申請者	研究課題名	判定	条件・勧告又は不承認の理由等
75	迅速	村山 繁雄	神経精神疾患および神経筋疾患の剖検組織を用いた硫化水素研究	承認	
76	迅速	堀田 晴美	侵害刺激による痛みの感覚と自律神経反射に及ぼす軽い機械的な皮膚刺激の影響	承認	
1	迅速	藤野 健	体幹並びに四肢の角運動学的視点に基づく高齢者歩行の特徴の探索と介護予防並びに腰痛のメカニズム解明	承認	
2	迅速	石崎 達郎	介護保険サービスを利用する要介護高齢者の医療ニーズと医療資源の消費状況	承認	
3	迅速	石井 賢二	アルツハイマー病総合診断体系実用化プロジェクト（J-ADNI全国臨床研究）におけるPET検査の実施	承認	
4	迅速	石井 賢二	アルツハイマー病総合診断体系実用化プロジェクト（J-ADNI全国臨床研究）におけるPET検査の実施：東日本大震災対応による東北大学の代替検査	承認	
5	迅速	吉田 英世	「高齢期の健康と自立の維持と要介護予防のための新たな検診システムの開発」（継続申請）	承認	
6	新規	石井 賢二	片側顔面痙攣患者の顔面神経開放術による脳糖代謝変化	承認	「開放術」を「減圧術」に統一すること。申請書8(3)2)の「網膜色素変性症」の記述を「片側顔面痙攣」に修正し、再提出すること。
7	新規	石井 賢二	網膜色素変性症患者における脳機能および形態の変化	承認	健常者向けの説明書、同意書を作成すること。同意書の「自らの自由意思で」はなくてもよいと考えられるため、削除について検討すること。
8	新規	石井 賢二	早期アルツハイマー病に対するシロスタゾールの脳機能改善効果の検討	承認	シロスタゾールの投与量について明記すること。「承諾(書)」は「同意(書)」に統一すること。順天堂大、東京医科大の倫理審査結果が出たら提出すること。
9	新規	豊田 雅士	ヒト歯髄幹細胞の細胞治療に向けた標準手順書（SOP）作成	承認	
10	新規	堀田 晴美	ポジトロンCTを用いた軽い機械的な皮膚刺激による脳賦活の検討	承認	同意書にある「承諾」を「同意」にすること。
11	新規	高橋 龍太郎	認知機能低下の抑制効果に関する研究	承認	
12	新規	吉田 裕人	兵庫県養父市における介護予防事業（養父方式）の効果検証	承認	
13	新規	吉田 裕人	埼玉県鳩山町における健康づくり・介護予防事業の効果検証	承認	申請書の「7. 研究方法等」の「1. 収集する既存データ」の1)の期間は2000年4月～2015年3月と修正し、再提出すること。

受付番号	新規・迅速	申請者	研究課題名	判定	条件・勧告又は不承認の理由等
14	新規	藤原 佳典	認知機能低下高齢者への自立支援機器を用いた地域包括的システムの開発と評価	承認	説明書を読むだけでは分かりづらいため、口頭で分かりやすく説明するよう配慮すること。
15	新規	杉原 陽子	介護保険制度の導入・改定の高齢者・介護者に対する影響評価	承認	
16	新規	大淵 修一	在宅サービスの災害対応に関する調査研究	承認	質的研究とはいえ、自由記載欄が多すぎるため、研究計画の練り直しを含め、高橋副所長と相談の上、研究を進めること。
17	新規	小島 基永	情報量のエントロピーを用いた地域在住高齢者の転倒予測指標の開発	承認	依頼文書について「研究参加へのお願い」と変更すること。同意書に説明者欄を設けること。除外基準、実施場所、交通費は自己負担、レクリエーション保険に入っていることを明記し、再提出すること。
18	新規	金 憲経	地域在住虚弱高齢者の身体機能改善のための包括的介入効果の検証	承認	飲むタブレットは何なのか（成分等）、具体的に説明書に明記すること。
19	新規	西 真理子 村山 洋史	虚弱予防を目指したクロスオーバーデザインによる介入研究	承認	同意書に10年間保存する理由や遺伝子等の情報として利用する可能性があることを明記すること。介入内容が分かるプログラムを提出すること。
20	新規	村山 洋史	地域包括支援センター職員を対象とした地区診断研修の実施と効果検討	承認	プログラム内容が分かる資料を提出すること。
21	新規	吉田 英世	地域高齢者における心身機能の加齢変化に関する長期追跡研究	不承認	説明書や同意書、調査票を添付し、申請書の内容を整理した上で、改めて次回以降の倫理委員会に付議し、審査を受けること。これまでの長プロの関係者（特に所内）の間で、南外調査の位置付けを十分協議すること。
22	新規	吉田 英世	地域在住高齢者における要介護化の要因に関する研究	不承認	説明書や調査票を添付し、申請書の内容を整理した上で、改めて次回以降の倫理委員会に付議し、審査を受けること。
23	新規	吉田 英世	地域在住高齢者の栄養摂取基準の検討	不承認	説明書や調査票を添付し、承認日前の研究内容については削除し、研究の目的や内容を明記する等申請書を整理した上で、改めて次回以降の倫理委員会に付議し、審査を受けること。